

## 第6回麻生区区民会議

## 第6回麻生区区民会議

日 時 平成25年11月25日（月）

午後3時から

場 所 麻生区役所第1会議室

午後3時00分開会

### 1 開 会

菅原委員長 定刻となりましたので、ただいまより第6回麻生区区民会議を開催いたします。一言ご挨拶申し上げます。第5回区民会議全体会は、8月26日の月曜日、3時から、この会場で開催しました。全体会議終了後も、企画部会、安全・安心のまちづくり部会、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会がそれぞれ精力的に活動に取り組んでいます。企画部会では広報と各部との調整、それから、安全・安心のまちづくり部会では、「大地震から助かる命を守る」ということで住民の方々のご協力を得て、具体的な取り組みをされております。若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会では、子育てフェスタのモデル事業を4月13日に行うということで進めております。それぞれの部会の今後の成果が期待でき、大変うれしく思っているところです。

本日は、8月26日以降の進捗状況について、それぞれの部会からご報告をいただきますので、審議内容を確認しまして、自分の部会はわかるのだけれども、もう1つのほうの部会がどのように進められているのか、把握をしていないというようなこともあるかと思われまますので、お互いに情報を交換をしながら、より充実した内容となりますようお願いしたいと思います。部会の中で話が進んでしまいがちですが、お互い相談していただいて、オープンで助けたり、助けられたりできるよう、お手伝いをいただきたい点は具体的に何なのか確認して頂いて、協力できるところは両方の部会が手を携えて進められるように、全体的な内容の審議のほどよろしく願いいたします。

また、本日は、参与の方々も大勢ご参加いただきまして、ありがとうございます。後ほどご指導のほどよろしく願いいたします。

なお、本日は、全体会といたしまして、約1時間程度見込んでおります。その後は、各専門部会に分かれまして、勉強会を開催したいと思いますので、皆様のご協力のほどよろしく願いいたします。

### 2 議 事

菅原委員長 本日の議事並びに資料について事務局より確認をお願いいたします。よろしく願いいたします。

事務局 それでは、配付資料の確認をさせていただきます。一番上に、本日の会議次第でございませう。次に別添1として、席次表、別添2として、第4期麻生区区民会議委

員・参与名簿でございます。資料1として、安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告、資料2として、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過報告、資料3-1として、企画部会の検討経過報告、資料3-2として、区民会議ニュース4、資料4-1として、区民会議報告書作成スケジュール、資料4-2として、区民会議報告書概要の検討、資料4-3として、区民会議報告書目次、資料5で、平成25年度区民会議交流会の開催について、参考資料1として、区民会議スケジュール、参考資料2として、麻生区区民会議第5回全体会議議事要旨、参考資料3として、第3期麻生区区民会議審議と提言への取組一覧、最後に、川崎市自治推進委員会のニューステーターでございます。資料に不足などがございましたら事務局のほうへお願いいたします。

次に、本日の議事について確認をさせていただきます。次第をごらんください。2の議事といたしまして、まず、3つの部会からの検討経過報告及び意見交換をそれぞれ行います。3のその他として、第4期区民会議報告書の作成については、企画部会の金光部会長からご報告いただきたいと思いますと考えております。平成25年度区民会議交流会の開催については、事務局より連絡いたします。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

#### 調査審議課題等について

##### ア 安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について

菅原委員長 それでは、最初に、安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について入りたいと思います。安全・安心のまちづくり部会長の村主部会長より報告をお願いいたします。それでは、どうぞ。

村主委員 ご指名をいただきました、安全・安心のまちづくり部会の部会長の村主でございます。お手元の資料1、A3判の1枚紙で、安全・安心のまちづくり部会の検討経過報告をさせていただきます。

左、真ん中、右とブロックが分かれています。一番左側は、既に全体会議でも何度かご説明してきている内容なので、詳しい説明は省略したいと思いますが、「大地震から助かる命を守る」というテーマのもと、3つの最優先テーマ、2つの優先テーマを設けまして、この3つの最優先テーマに対応するモデル事業を実施するということになりました。左下にありますように、「モデル事業の取り組み」ということで、目的や内容、それから、その成果の広報・周知について考え方を整理しております。

これに沿いまして、真ん中のほうへ行きますが、モデル事業の実施のほうにまいりまして、4月から8月にかけては、活動計画や実施体制の検討をいたしました。そこで、大体計画がかたまり、体制も整ったということで、6月から9月にかけてモデル対象地区の募集、それから、決定を行っております。この段階では、この全体会議で

もご説明をした後、安全部会に所属されている委員以外の方からも、区内のお知り合いにお声がけをしていただきまして、対象の世帯を獲得することができたということで、ご協力いただいたことに感謝したいと思います。マンションは1グループ、1棟ですね、6戸、それから、戸建て系は、当初は10戸ぐらいのグループで、地域でまとまってというのを目指しましたが、そういう形では応募を得ることがなかなか難しかったので、1戸ずつばらでもいいということで、再募集いたしました。結果的には11戸、11戸の中には2世帯住宅2戸を含みますので、それをそのまま数えますと13戸、したがって、合計19戸の応募がありました。若干ばらつきがありますが、マンションと戸建てで合計20戸を目指しましたので、ほぼ当初の予定どおりの対象世帯が決定したということでございます。

その次に、9月以降、実施に入るわけですが、9月17日に作戦会議というものを開催いたしました。これはそこに参加者が書いてありますが、モデル事業を監修していただきます明治大学の園田先生、施工部門を担っていただきます建築技術者、それから、ここでは市民活動者と書いてありますが、個人の方ですけれども、家具の固定に非常に真摯に取り組んでいらっしゃる方にも加わっていただきまして、それと区民会議の委員ということで、作戦会議を開催いたしました。そこにありますように、重要なことを決定いたしまして、全体スケジュール、戸別スケジュール、実施体制、施工の範囲をどこまでにするのか、工法の選択をどう考えるのか、金具類の選択をどうするのか、それから、このモデル事業は、家具の固定、転倒防止に重きを置きましたので、あと2つの最優先テーマである家屋の倒壊防止と火災予防に関しては、情報提供を行うということで、それについての議論をいたしました。対象世帯から要望があったときにどう対応するのか、取り組みの撮影をいたしますけれども、それについての打ち合わせということで、モデル事業のかなり具体的なところまで9月17日の作戦会議で決定いたしました。

次に、右側へ行きますが、それに沿って、いよいよ実際の事業実施に入りますが、まず具体的に1戸ずつやってみたほうがいいたろうということで、ここではプレモデルというふうに書いてありますが、戸建て1戸、マンション1戸を先行的にやらせていただきました。事前調査は10月11日に、戸建てとマンションとそれぞれ立て続けにお邪魔して、関係者で事前調査、お住まいの方と話し合いをしながら、どういう家具の固定をすべきかということについての調査をいたしました。その結果を整理して、工事を10月23日と24日に実施しました。戸建てのこの10箇所と書いてありますのは、タンス10棟とだけいただければと思います。マンションも、1世帯の中でとめる箇所が9箇所ということでございまして、所用時間が、事前調査は2時間ぐらい、工事は4時間ぐらい必要というようなことなど、いろいろやってみて気づきました。この後、本格実施に移るわけですが、それに向けての体制とか、整理しておかない

といけないということがこのプレモデルを通じて明確になり、非常に意義のある実施となりました。

そこに5つほど書いてありますが、例えば4つ目、簡単な工事は自分でもできそうだと思ってやってもらうことが重要で、それが地域に広げる発信源になってくれることが期待できるのではないかというような気づきもございましたが、ここに書いてありませんが、一方で、やり方を示すことで、1つモデル的にやってみて、あとは自分でやってくださいねというやり方がいいのではないかという意見もあったのですけれども、お住まいになっているプレモデルのご家庭の方から、あとは自分でやってくださいというのは、結局やらないからだめなのだというようなご指摘もありました。実際に行ってみて、それから、ご家庭の方と生で話をすることによってわかることも非常に多かったということがございます。

あと、マンションは、区分所有の共同住宅ですので、管理組合があり、施工業者と書いてありますが、管理会社など、そういうところと調整しないとイケない、戸建てとは違う難しい点がある、しかも、マンションごとに違うということで、気を使ったり、事前の調査が重要だという話がございました。

このプレモデルの経験を整理しまして、10月28日に、対象世帯説明会を開催しまして、全戸というわけにはいきませんが、14世帯からご出席をいただきました。欠席者には後で個別に資料を送ってご説明いたしました。そこでも建築技術者なり、市民活動者の方から具体的な説明をいただいて、モデル工事のイメージをかなりリアルにご理解をいただきました。また、いろいろな質問なりご意見もいただいたということで、この説明会も、その後の本格実施に向けて非常に意味のある開催となりました。

「今後の取り組み」となっておりますが、今後といっても、このモデル事業の実施は、11月から12月、既に半ばを過ぎておまして、各ご家庭のご都合を伺いながら、調査の日取り、工事の日取り、大体1週間はあげましょうということで決めまして、区民会議の委員も担当が張りつきましてお邪魔して、調査と工事を今着々で行っているところがございます。そこにありますように、希望を聞きながら事前調査を実施し、工事実施計画、設計図書のようなものをつくりまして、それに沿って工事を実施し、作業記録をとっています。作業記録というのは主に写真とかビデオということになります。

作業に入っただけの感触ですが、どういふとめ方をするのかということ以上に、実際に具体的に家にお住まいの方がいて、その方の生活によって、例えばお子さんが大きくなったり、結婚して出ていかれたり、あるいはお子さんがお嫁に行ったのだけれども、時々戻ってくるとか、お孫さんがとか、ライフステージが変わる中で、ある時点で家具をとめましようとなると、とめることに対する抵抗もあつたりもしまして、その中でどうしますかというのは、一筋縄にはいかないことがわかりました。なかなか

難しい問題なので、単に大工の技術がある方に、画一的にとめてもらえばいいというものではなくて、奥が深いといえますか、いろいろな気づきとかノウハウを得つつあるというのが今の状況です。モデル事業が終わりますと、この成果を、12月から1月にかけて結果を取りまとめて、私達なりに整理をし、普及啓発活動の作成に生かしたり、あるいは区民会議の報告、提言に生かしていくわけですが、なかなかいろいろな示唆に富む経験を今積みつつありますので、他にないような成果が次第にまとまりつつあるのではないかとというふうな感触を得ております。

そういうことで、1月以降、提言書の取りまとめに入りたいと思いますが、過去の区民会議のように報告書の中に提言というだけではなくて、もちろんそれも取りまとめますが、市民向け、区民向けの普及啓発資料の案をつくる、原稿をつくって、それをたくさん刷って配るといふところまではなかなか、多分この第4期の活動ではできないと思いますが、原稿をつくって、どういうふうに生かしてほしいというようなまとめ方をして終わりたいと思っております。今、そのような状況でございます。

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの報告についてご質問なりご意見がございましたら、どうぞ。

高橋（慶）委員 今、ご報告がありました。当初、私どもの町会も、3世帯の方が応募されまして、そのうち、今、村主部会長がおっしゃいましたように、低い家具に買いかえるということで、1世帯は辞退いたしましたけれども、先週の20日に1世帯の方が既に吉田委員にいらっしゃっていただきまして、あと女性2人の方がお見えになられて、早速、耐震の補強をさせていただきました。その方から大変感謝のお電話がありまして、会長、実際やっていただいたことを見に来てくださいと言われてまして、私も先週見に行っていました。その方はひとり暮らしの79歳でしょうか、戸建てに住んでおりまして、食器棚については食器が落ちないように工夫もしていただき、また、居間の低い家具や寝室の箆筥には滑りどめをつけていただき、それから、家具と天井のすきまがあいていたところに、きちんと板を挟んでいただいて倒れないようにして、1つ1つ、女性ではできない、高齢者にはできないところにも、対処いただいたとのことでした。この方は伊豆沖地震を体験されていて、とても怖かった思いがいまだに抜けないということもありまして、終わったとき、夜は安心して眠ることができましたということと、ここまでしていただいて、区民会議の皆様によろしくお伝えくださいという喜びのご報告がありましたので、ご報告させていただきます。どうもありがとうございました。

菅原委員長 実際にしていただいた方から大変感謝をされていらっしゃったということですね。それでは、ほかの方はどうですか。東川委員、お願いします。

東川副委員長 内容のあるモデル事業だと思うのですが、この実施した成果、それを先ほどの資料をつくって配るとかおっしゃっていましたが、せつかくの成果ですから、報

告会を行うなど、具体的に成果を区民に知らせるという手段はお考えなのですか。

村主委員 このモデル事業を含む安全部会の成果を区民向けに報告会のようなことを行わないのかというご質問をいただきました。区民会議としては、区民会議フォーラムというのが正式に発表の機会がございまして、9月に、まだモデル事業に実際に着手する前でしたけれども、目黒先生、園田先生に来ていただいて、啓発という意味でやらせていただきました。次の区民会議フォーラムが4月に予定されておりますが、もう1つの若者部会のほうで子育てフェスタということで銘打ってやられるということなので、若干時間をいただいて報告をさせていただくか、あるいは趣旨が2つでは混乱というか、うまく区民に伝わらない可能性もありますので、別途行うべきかは、この後、部会でもアイデアを出して、ただ予算なり、いろいろ問題があると思うので、案を出して、またこの全体会議なり事務局とご相談をさせていただきたいと思います。気持ちとしてはぜひ多くの区民に効果的に伝わるような方法を考えていきたいと思えます。

菅原委員長 ありがとうございます。金光委員、どうぞ。

金光委員 今回の東川さんの質問に続くのですが、この部会の目標は、3つ最優先テーマとして掲げられて、その中に、「死者数を0にすることを目標に、区民による主体的な取組みにつなげる」を第1の目標に掲げているわけですが、今の説明の中で、今調査をやって、モデル事業を実施して、いろいろな所見が発見したということまではわかったのですが、その後の「区民による主体的な取組みにつなげる」ということは、一体どのような形でつなげようとしているのか。どこの団体と協力して、これをつなげるような方向へ持っていこうとしているのか。今の麻生区の中には町連という大きな組織があって、その下にそれぞれの町会、自治会が結びついているわけですが、この主体的な取組みにつなげるとなると、団体を無視してはつながらないわけですね。だから、協働、協力、あるいは連携というものはどういうふうに関係を進めているのか、もしくは、もっと違った方向をとろうとしているのか、その辺のところを皆さんと検討されているのかどうか、お知らせいただければと思います。

村主委員 区民による主体的な取組みにいかにつなげていくかということについて、今、金光委員から、町会自治会、あとは自主防災組織というのもあろうかと思えます。そういうものは区内に張りめぐらされているというか、カバーされていますので、そういうところと連携をさせていただくのが最も効率的で望ましい姿だと思っております。今、既にそういうことに取り組んでいるのかというと、今、モデル事業を実施するのに懸命なので、その成果がまとまりつつある段階で、さて、これをどうやって普及していくかということで、当然今、金光委員がおっしゃったようなことについて意識して検討してまいりたいと思えます。

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、ほかにいかがですか。——それでは、ないようですから、安全・安心のまちづくり部会の報告はここまでにさせていただきます。

イ 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換について  
菅原委員長 次に、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の検討経過報告及び意見交換を行いたいと思います。若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の石井部会長が本日欠席ですので、山田副部会長から報告をお願いいたします。

山田委員 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会の副部会長、山田でございます。部会長がきょう欠席のため、私のほうから、お手元の資料2に沿いまして検討経過報告をさせていただきます。私どもの部会では、テーマ①「子育てしやすい環境づくり」と、テーマ②「芸術・文化のまちづくり」という2つをメインテーマにしてこれまで取り組んできております。

まず最初に、資料に沿いまして、テーマ①の「子育てしやすい環境づくり」についてご報告させていただきます。

前回までの全体会のご報告で、最初の部分はかなり詳しくご報告していますので、その辺は経過報告をしながら、最近の部分につきまして、できるだけ詳しくご報告いたします。

私どもの部会の「子育てしやすい環境づくり」の全体の方向性としましては、そこに載せております子育て世代、20代から40代の母親及び父親たちが、子育てしやすいまちづくりを目指すことで、全体の検討、最終テーマになります、若者が住みたくなる魅力あるまちづくりを実現するということを目標にして審議を進めております。最初に、調査審議の経過についてざっと見てまいります。この詳しいご報告は既にしてありますが、4年前、平成21年の川崎市の次世代育成支援に関するニーズ調査と、今年行いました親子コンサートのアンケートを対比する形でそこに載せております。この4年間、約5年間にどういう変化があったか、子育て世代の人たちがどういう意識の変化を持ったかをここで読み取っていただければいいと思います。4年前の川崎市のニーズ調査では、そこに載せておりますように、子どもを遊ばせる場所や機会が少ない、こういう機会をもっとふやしてほしいという声が多かったように思います。これに対しまして、今年行ったアンケート調査では、それもあるのだけれども、もっと優先課題として、保育園がいっぱいで入所できない、さらに、行政に対して、保育園の受け入れ定数の拡大を促したいということをあわせて保育料や教育費の経済的負担が非常に大きいという点と、子どもを預かってくれる人がいざというときなかなかいないという、子育てと仕事の両立という直面する母親の切実な声がここから酌み取れます。そういうことで、この4年間、経済的な環境の変化もありますが、行政



及び地域に対して、子育て世代からより切実な問題として、そこに載せているような課題が突きつけられているというふうに受け取られます。

そこで、もう少し現場に即して、お母さん方の声をもっと拾い上げていこうということで、そこに載せております子育て支援団体6カ所及び行政へのヒアリングを行いました。対象はそこに載せているとおりです。その結果、全体のこれまでのヒアリング、アンケートも含めてですが——を通じてどういう問題が、課題が出されてきたかというのを、一番下の「提言の方向性」のところにまとめております。1つ1つ説明しませんが、1から9までの課題がこれまでの全体の調査、審議の経過から導き出されているということです。これを受けまして、麻生区としまして、非常に特徴的な取り組みを生かした多様な子育て支援というものを実現していくために、そこに掲げていますスローガン、「子育てするなら麻生区で」、「安心・楽しい・助かる」という、この3つをキーワードとして、新しい課題解決のための提言に持っていこうというのが一番新しい私どもの作業です。

その中から、後でご説明します第1回の子育てフェスタを来年4月に開催しようということに結びつけて提言を行っております。それ以外の課題についても、先ほどの9つの課題のうち、第4番目まではフェスタで解決できますが、5番目以降はフェスタで必ずしも解決できないということで、今後、この解決につながるための方策を引き続き検討していきたいというふうに考えております。

それから、次、テーマ2の「芸術・文化のまちづくり」に移りますが、これもこれまでの経過、ヒアリング等、既にご報告しておりますので、全体の目指す方向と、最終的な提言の方向性についてご説明します。

既にこれまで流れとしましてご報告していますように、このテーマにつきましては、第3期からの持ち越しの部分が半分ございます。その部分につきましては、引き続き芸術・文化の香りが感じられるようなまちにするための方策を進めていくということをやっていききたい。それに加えて、今回、若者と子どもの育成というものをキーワードにした新しいテーマを加えて、この当初の方向性を実現する方向で進めてまいります。

一番下の「提言の方向性」のところに載せておりますが、これも前回説明しておりますので、詳しい説明は不要だと思っておりますが、第3期からのフォローアップにつきましては、そこに載せております2つのテーマ、2つの課題を今後取り組んでまいります。わかりにくいところだけ補足しますが、2番目の川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用のところですが、情報発信・活用化推進方策の検討というところですが、麻生区にあります人通りの多い公開空地とか、民間土地、民地への広報物体の設置などを地区の行政と協力して活性化しながら取り進めていくということを考えていきたいと考えています。

それから、第4期の新しい提言としまして、若者や子どもなど多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくりを進めてまいります。これは、若者の参加を呼びかけながら、あさ子育てフェスタでの芸術関連事業等の周知を図るとというのが内容です。さらに、2番目の芸術・文化関連団体の活動上の課題・行政への要望等への対応を進めていきたいというふうに考えています。具体的にはそこに書いていますような練習場の確保の問題、情報提供の問題等がございます。

これまで審議を進めてきました子育てしやすい環境づくりと芸術・文化のまちづくりという2つのテーマを総合する形で、一番右側に、来年4月に、あさ子育てフェスタの開催を提言するという内容をここに説明しております。先ほど言いましたように、この実施に当たっては3つのキーワード、「安心・楽しい・助かる」と「子育てするなら麻生区で」というスローガンを掲げて開催してまいります。内容については、真ん中のほうに、テーマ、日時、場所、内容について載せておりますので、ごらんいただきたいと思います。

その下に、これは単なる子育てのフェスタということにとどまらず、芸術・文化の要素も取り入れながら、新しいしんゆり・芸術のまちをつくり上げるというために企画しておりますので、麻生区の6大学連携に基づく区の行政の協力を得ながら、若者が自主的に参加できるような仕掛けも含めて進めたいと考えております。その審議の進め方のスケジュールは、そこに載せているとおりであります。

以上、ご報告を終わります。

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、ただいまの若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会のことについて何かご質問やご意見がありましたら、お願いいたします。

なお、ただ今の報告の補足ですが、8月26日以降は、9月13日に第12回の部会を開き、子育てしやすい環境づくりについて、麻生区役所の児童家庭課やこども支援室や生涯学習支援課の現在の取り組み状況についてのヒアリング結果の確認をしました。そこで、各課とも子育て支援は行われているのですけれども、課題が依然あるということがわかりました。例えば一時保育事業は事前に登録しないと、預ける日時も伝えておく必要があるということで、一時保育事業が市民が捉えているサービスとは少々違って、いざというときに預けたいというニーズに合っていないとか、ボランティア講座の研修冊子がないので、研修の中身の充実をしたらどうかとか、研修冊子の内容の検討が必要ではないとか、育成プログラムの提案なども行ったらどうかというようなことがその9月13日に諮られました。

子育て支援に関してかなり網は張られているのだけれども、情報提供が不十分ということで、充実させるための1つの手段として、今回の子育てフェスタの案が出ました。子育てフェスタを通して、多くの子育てのお母さん、子どもたちが触れ合うよう

な機会をつくっていったらということで、4月13日の10時半から15時に開催で準備を進めています。会場はここに書いてあるように区役所の会議室やロビー、区役所前の広場、保健所予防接種ホール、レストランあさお、そういうところを使ってやりましょうと。内容は、区内の子育て団体の紹介ブース、育児相談室、育児情報コーナー、子どものものを物々交換するバザー、遊びの広場、ミニコンサート等を検討していて、それらに「安心・楽しい・助かる」のキーワードや芸術文化が結びついて、大学生とか、若いお母さんたちに参加をしていただくというような形で話を進めています。また、子育てフェスタに参加、協力していただいた大学生や若者から意見を聞く、あるいは実施したときに、アンケートに設問を入れて、その結果を検討して提言に組み込んでいくというようなことも審議しております。

「子育てするなら麻生区で」ということを掲げて、子育てフェスタを1つのモデル事業としてスタートしていったらいいのではないかとということで、部会の皆さんが今積極的にいろいろな団体に働きかけして、実行団体を組み込んでいきたいと考えているところがございます。補足をさせていただきましたが、何かご意見ありますでしょうか。

特にありませんか。——それでは、ここで若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会については終わらせていただきたいと思います。

#### ウ 企画部会の検討経過報告及び意見交換について

#### 3 その他

#### ア 第4期区民会議報告書の作成について

菅原委員長 それでは、企画部会の検討経過報告及び意見交換についてお願いしたいと思います。金光部会長からどうぞよろしくお願いします。

金光委員 それでは、企画部会のほうからご報告させていただきます。

今、委員長のほうから、企画部会の検討経過報告ということですが、第4期区民会議報告書も続けて報告いたしますので、よろしくご了承ください。

資料に沿ってご報告をしていきたいと思っております。まず、資料3-1、資料3-2、それから、区民会議の報告書作成の部分で、資料4-1、資料4-2、資料4-3までについて順を追って資料に従って説明させていただきますので、よろしくお願いします。

まず、企画部会の検討経過報告ですけれども、企画部会のメインの仕事といいますと広報活動なのですが、既に1号、2号、3号、4号については報告をいたしております。報告というか、出版しておりますが、4号につきましては、皆さん、お手元に既に配られてごらんになっていると思っておりますけれども、区民会議のフォーラムとして、防災に関するフォーラムを9月7日に行いましたのでその結果の報告を掲載しま

した。裏面には、子育てフェスタが平成26年4月13日、10時半から3時までの予定と  
いうことでの告知をしておりますので、ひとつご了承いただければと思います。

あと残りは、5号につきましては、来年の2月に子育てフェスタの開催案内用の広  
報を出す予定にしております。それと、第6回の区民会議全体会議の報告を掲載して  
出す予定にしております。これが広報についての報告でございますけれども、最終号  
につきましては、我々の提案、区民会議全体としての提案、部会の提案についての報  
告をさせていただく予定にしています。ここでは割愛されていますけれども、6月ご  
ろに予定しております。

次に、第2の区民会議の報告書の作成についてですが、資料4-1、これは各部会  
の作業スケジュールを示した一覧でございます。まず一番上の企画部会につきましては  
は、12月までに報告書の概要、どんな体裁でつくるかというような見本を次回の12月  
の企画部会までに提出して、それから、資料の部分、その他原稿等は2月までの全体  
会議に間に合うように作成していこうというスケジュールになっています。それか  
ら、3月以降は報告書、でき上がった案のものを修正し、さらにスケジュールの再確  
認をして、最終的な報告書、小冊子完成へ向けて作業を進めていくという形になりま  
す。5月に入って、これは合同部会を開く予定になっていますが、これはそれぞれの  
部会だけではなくて、お互いに他の部会の人たちからも提言について意見を述べても  
らって、その中でさらに修正、あるいはつけ加える点があれば、その合同部会の中  
での審議を受けて、内容に盛り込み、第8回の全体会議で最終的な報告を提案してい  
こうというものです。そして、報告書を完成して、区のほうへ我々の提案を提出する  
というスケジュールとなります。これが企画部会の流れとなります。

それから、安全・安心のまちづくり部会は、モデル事業を今実施していますが、そ  
の事業の評価、記録、整理などを行って、その課題を設定した背景の検討等の原稿作  
成を一応2月までの間に作成していただき、そして、さらに課題解決策、あるいは広  
報手段等を検討して、提言書を作成するようなスケジュールを組んでいただきます。

それから、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会では、今現在、子育てフェ  
スタの検討、企画、準備を今やっている最中でございます。それと、協力していただ  
けるいろいろな団体が麻生区の中にありますが、そこへの協力依頼のことを今順次委  
員の人たちが手分けしてお願いに訪問しているというところです。さらに、課題を設  
定した背景とか、あるいは検討経過の原稿づくりをこれから始めて、2月までにそれ  
を作成する。子育てフェスタを3月から4月に向けて準備して、4月の子育てフェ  
スタを実施した段階で、さらにここでもってアンケート等をとって、現状、いろい  
ろな人たちの意見を聴取して、それから出てきた問題点等を整理して、提言に結び  
つけ、最終的な案を作成するというスケジュールになっています。

本当にわずかな期間しかないのです、皆さん、大変忙しくなるとは思いますけれども、

ご協力のほどお願いしたいと思います。

それから、資料4-2、「第4期区民会議報告書概要の検討について」ですけれども、まず報告書ですが、内容は提言と検討過程、結果報告、資料が載るような形になります。小冊子の形になります。部数は250部で、6月中に完成する予定です。完成後は関係者、あるいは希望者に配付すると、これは例年どおりのことになります。それ以外に概要版、A3を2つ折りにした4ページものですから、A4になります。提言を中心にして、コンパクトな内容にしたものをつくる予定にしています。部数につきましては、予算に応じて検討ということなので、まだ来年度の予算が決まっていないので、このところではまだどのぐらいつくるかは検討していません。この配付先は、各町会に回覧する予定にしていますので、よろしくお願い申し上げます。

それから、次に、報告書の作成方法ですけれども、まず、各部会に関する部分では、各部会で原稿を作成して、課題を設定し、背景や検討経過などの部分を作成していただくということです。それから、それを企画部会に諮って、企画部会でそれを確認、調整する形になります。それを2月全体会議で報告して、案として報告を出し、さらにつけ加える部分があれば加えて提言の作成へ持っていくということです。それから、5月の企画部会で報告して、全体的な調整を図る。このときに、その他の部分のものもありますので、事務局で作成されたもの、あるいはコンサルタント会社が作成した資料をどう取りまとめるかということも企画部会で検討、修正して、2月のところで上げ、合同部会の勉強会を通して、最終的に5月の全体会で全部のものをまとめ上げるというスケジュールにして作業を進めていく予定にしています。

「第4期区民会議報告書の目次について」ですけれども、資料4-3ですが、まず一番左側は、第3期の区民会議の報告書が書かれています。これに基づいて真ん中のところ、第4期の区民会議の報告書をこれと併記してこのような形でまとめていこうと示したものがこの目次です。まず、4期の区民会議の報告書ですけれども、一応チャプターが1章、2章、3章、4章、5章と資料編と、これは3期の区民会議と同じような形のまとめ方になります。一番初めの1のところ「刊行によせて」ということで、委員長のご挨拶を載せる予定にしています。目次の後、第1章のところは区民会議についてということで、区民会議とはどういうものかという説明、それから、今までやってきた第1期から第3期の区民会議の審議の流れを載せる予定にしています。これは3期と全く同じです。第2章のところ、第4期区民会議として審議課題の選定と審議の流れ、それから、会議の構成と役割ということで、どのような審議をしてきたか、どのように選定してきたかということの経過をここで載せる予定にしています。それから、第3章では、各部会の審議の取り組みについてということで、3つの企画部会、安全・安心のまちづくり部会、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会のそれぞれの背景、検討経過等を載せる予定にしています。第4章では、既にやり

ました区民会議フォーラムと、これからやる予定の子育てフェスタについての概要をここで取り上げます。第5章は、それぞれの部会の提言を取りまとめて、載せる予定にしています。最後の資料編は、調査や資料をまとめて掲載する予定にしています。これは第4回区民会議委員並びに参加の名簿、活動の記録、区民会議関連資料、アンケート調査等々のものを載せる予定にしていますので、このような形で進めて、50ページぐらいでまとめる予定にしています。前は3期の場合は62ページになりましたけれども、さらに10ページぐらい省略して、省力化、経費削減のほうへ協力したいと思います。よろしくお願い申し上げます。

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、報告書について何かご意見がありましたらご意見ください。各部会の中で、個々のところにかかわる部分がたくさんありますから、また部会でお話しただいていいのではないかと思います。全体的な流れの中で何か問題があれば、企画部会で最終的にはもう1度調整することができますから、よろしくお願い致します。田中さん、どうぞ。

田中委員 企画部会の報告の補足をさせていただきます。

私、副部長をしております田中ですが、区民会議フォーラムに金光さんご都合でお出になれなかったもので、補足して、区民会議フォーラムの報告をさせていただきます。

まず、資料3-2をごらんいただきたいのですが、153人の方にお集まりいただきまして、当初予定していました椅子が足りなくなって、随分追加をするというように、大変大盛況でございました。裏のページに、参加者の年齢の割合が出ていますけれども、高齢の方、あるいは中高年の方が大変多くて、この方たちがこのテーマであります「大地震から助かる命を守る」ということに対して大変関心を持っていただいているということがこの数字からわかると思います。今後、この活動を進めていく上で、この年齢層の方たちは大きな戦力として期待していいのではないかとこのように思っています。

それから、アンケート「講演はいかがでしたか？」という結果が出ていますけれども、このフォーラムの中身は、御二方の大学教授の方の講演と、それから、区民会議の簡単な報告、展示という内容だったのですが、特に東京大学の目黒教授の講演に対して大変関心を持たれた方が多かったです。参加者からの声のところに、「聞いたかったのは、これだ！人からの情報に惑わされず、自分で判断するという考え方や牛乳パックなど身近なものを使用して家具の転倒を防止する話が参考になった」というのが書いてありますけれども、皆さん、大変興味を持ってくださいました。

それから、また裏のページに行くのですが、この「区民会議をご存知でしたか？」という設問に対して、「フォーラムで初めて知った」という方が45.9%と、半分近くの方が、このフォーラムに参加して区民会議の存在を知ったというような結果でした。

これは今度の子育てフェスタはもっと大規模に行われるわけで、これがやはり区民会議の周知といたしますか、PRの大きな機会になるのではないかと感じています。

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、ほかによろしゅうございますか。

イ 平成25年度区民会議交流会の開催について

菅原委員長 それでは、事務局のほうから、平成25年度区民会議交流会の開催について説明をお願いいたします。

事務局 企画課の白石でございます。それでは、資料5で、平成25年度区民会議交流会の開催についての説明をさせていただきます。

各部会のほうでも既に説明いたしました、7区区民会議の委員の交流ということで、麻生区からは14名の委員の方が参加していただける予定となっております。内容につきましては、これまでお話ししましたとおり、7区の取り組み状況の報告と、7区の委員の交流となります。市長の項目につきましては、後ほど新市長に参加いただけるかも含めて意向を確認することなので、多少修正が入るかというところでございます。今後、当日の資料や、内容の詳細が市民・こども局のほうから入ってくると思いますので、適宜各部会でご紹介したいと思います。

以上でございます。

菅原委員長 ありがとうございます。26年の1月22日ですね。14名の方がご参加くださるということでございますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

それでは、第4期の区民会議の今後の開催日程について確認させていただきます。

年間のスケジュールでいけば、次は2月17日、月曜日、午後3時から、こちらの会場で行うということで予定しておりますが、よろしいでしょうか。予定に入れてくださいますようお願いいたします。

それでは、予定をしておりました議事についてはこれで終了となりますが、この場で何か審議する事項とか、確認をしておいたほうが良いというような必要があるようなことがありましたら、お出しただいて結構ですが、よろしいでしょうか。

——特になければ、議事はこれで終了させていただきます。

それでは、本日忙しい中、たくさんの参与の皆さんがご参加いただきまして、ありがとうございます。それぞれ区民会議へのご助言や、本日の感想などをお願いできましたら大変ありがたく思います。

それでは、あいうえお順で雨笠参与からお願いします。

雨笠参与 雨笠でございます。皆さま方、それぞれ大変成果を上げられて、さまざま発表、それから、啓発の時期は違うのでしょうかけれども、大変すばらしい取り組みをされていられると感じました。

以上でございます。

勝又参与 勝又です。安全・安心のまちづくり部会の報告は、先ほどお話がありましたように、79歳の方が、自分の家の家具などを全部滑りどめをつけていただいたとのことで、今回、皆さんのおかげで、夜も安心して寝られるということをおっしゃっていたということで、こういう取り組みというのは、1戸ずつ、マンション1棟ずつみたいな感じで行っていくのですけれども、それが周りに広がっていけば、本当に安心した暮らしが送れるだろうと思いました。

次に、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会なのですからけれども、こちらも「子育てするなら麻生区で」という、このスローガンがすごくいいなというふうに思いました。以前、私は川崎に来たときには、子育てするなら川崎でと言われた言葉があったのですけれども、それがだんだんなくなってきているというところでは、この言葉が再びこの麻生区で復活できるような、そういう取り組みがされるといいなと、あさ子育てフェスタの中でそういうことが生まれてくるといいなと思いました。

ただ、このスローガンの下に、1番と2番で分けてある、前回のアンケートと今回のアンケートの中で、余りにも第1位が変わってきているというところでは、前回、アンケートでとったその中の課題は、今回の子育てフェスタの中で解決するのかもしれないのだけれども、それ以外の課題、5番から9番までのところについては今後の課題になるのかなというふうに思いますので、ぜひまた区民会議でも取り上げていただけるといいなと思いました。

木庭参与 木庭理香子でございます。若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会が取り組もうとされている子育てフェスタの開催、これは非常に期待しております。といいますのも、先日、私も十数人の子育て世代のお母さん方とミニ集会などを設けたのですが、その際に、情報があるようで、わかりにくいですとか、保育園のこと、今、保育園児とか幼稚園児を抱えていらっしゃる方が、これから学校に上がっていくときの学校のことの不安も訴えておられましたので、ぜひこの子育てフェスタでは、小さいお子さんをお持ちの方だけではなくて、これから就学に向けていく方々への対応もお願いしたいと思います。きょうは本当にお疲れさまでした。ありがとうございました。

月本参与 月本琢也でございます。皆さん、お疲れさまでございます。本日ゆっくりとお話を伺わせていただきまして、安全・安心まちづくり部会のほうでは、区民の方が自分たちで取り組めることについてもしっかりとお話をしていくと。それでできない部分で、理由のあるものについては実際現地でやっていただくということで、このモデル事業を拡充、拡大していくことで、それぞれ自助、共助、公助、バランスよく進めていく、いいきっかけになるのかなと思って、期待しております。

若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会のほうですけれども、先ほど委員長も情報のお話をされましたが、子育てに関していろいろなサービスがあるのだけれど



も、どのサービスを受けられるのか、あるいはどのサービスが一番自分に適しているのかということが、なかなかわかりづらいということもありますので、子育てフェスタの開催というのはいいのかなど。私も先日、北九州市を視察してきて、子育てのサポート事業もそういった機会を通じて知っていただくという事例もありましたので、非常に期待しております。

それから、企画部会の先ほどのご報告の中で、区民会議フォーラムの中で、区民会議をそもそも知らなかったという方が45%いたということで、ある特定のテーマ、子育てを知りたい人に、いろいろな課題解決の形をわかっていただくとともに、今度は区民会議を知っていただくという、そういった相乗効果があげられる機会にしていただければと思います。皆様方、本当に細かい議論から積み上げてこられた有意義な結果ということで、今日は大変勉強させていただきました。ありがとうございました。

山崎参与 遅参しまして、失礼いたしました。資料のほうはしっかりと目を通させていた  
だきたいと思います。本日はお疲れさまでございました。

菅原委員長 ありがとうございました。参与の皆様には、今後とも麻生区区民会議へご助  
言をよろしく願いいたしたいと思います。

最後に、本日の審議を踏まえまして、多田区長よりご挨拶をお願いいたします。

区長 委員の皆さん、大変お疲れさまでございました。この後、それぞれまた部会に分か  
れてご審議いただくということなので、本当に手短な挨拶になろうかと思ひます。

安全・安心のまちづくり部会、9月7日のフォーラムは大変成功裏に終了いたしま  
して、具体的にモデル事業なども着手していると、職員から報告を受けているところ  
でございます。自助、共助、公助のバランスは重要と思ったのは、今回、特に震災に  
対する転落防止に取り組んでますけれども、今年の夏、竜巻があったり、台風という  
ことで、麻生区内も土砂崩れなどの災害がございました。幸い、大きな事故、あるい  
はけが人は出なかったわけですが、10月の大型台風が来たときに、ある地域で土砂崩  
れが3件ぐらい続きましたので、避難所を開設をいたしました。ただ、避難所開設と  
いっても、風雨が激しいとき、夜中に避難ということになりますと、水平避難の二次  
災害もございますので、不安な方はどうぞ避難所を用意していますからおいでくだ  
さいということで開設しました。事前に町会の皆さんと、回覧板などで、この地域限定  
でやっていこうではないかなど、いろいろ打ち合わせをしたのですけれども、当日に  
なりますと、連絡がついていなかったりいたしまして、緊急の連絡体制が固められ  
ず、私どもが地域に回ってビラを配ってご案内するという、大変貴重な体験をさせて  
いただきました。自助、共助、公助というバランスが大事だというのは、いつも私ど  
もはお願いしているのですけれども、自助、共助、公助に対する災害に対する意識と  
いうのが、それぞれがばらばらだと、役割分担しても、いざというときに機能しない  
のではないかと、こういうこともありましたので、我々は役割分担だけではなくて、共

通の意識を持てるような取り組みをしていくことが大事かなと思いました。ですから、今回の家具の転落防止の成果が出て、こういうことで本当に安心しているという成果を区民の皆さんにお知らせする機会をぜひ設けていただきまして、震災の家具転倒では死亡者ゼロ、これを実現するまちにしたいと思っています。

それから、若者が住みたくなる魅力あるまちづくりのほうは、主に川崎市の課題として、保育の量が足りない。待機児童が県内ワースト連続でして、麻生区は4月のデータだと43名の待機児童がいらっしゃいます。今度の4月には新たに4園オープンしまして、定数では270人ぐらい増えるのですね。しかし、保育園は定数というのがございまして、ゼロ歳、1歳、2歳、3歳、4歳、5歳。270ふえたら43人吸収できるかという、そういう課題でもなくて、3歳、4歳、5歳の就学前のお子さんというのは、保育園か幼稚園には結構行っていっちゃって、5歳児は95%ぐらい、ゼロ歳から1歳、2歳というのは、7割、8割が在宅で子育てをされている。私ども、待機児童というのは、保育の量が絶対足りないので、新しい市長とともに全力で向かっているのでございますけれども、在宅で子育てをされている方の子育て支援、こちらも大きなテーマでございまして、核家族化で孤立する、情報が無い、仲間がいない、こういう人たちにもしっかり支援してまいりたいです。また、麻生区では、区内、あるいは近隣にございます6大学と協定を結んで連携して、主に子育て支援をそれぞれ大学の特色を生かして、いろいろご協力いただいておりますので、それらのご紹介も子育てフェスタの中でさせていただきたいと思っております。田中委員から先ほどお話がございましたけれども、フォーラムへ来て初めて区民会議を知った方がいたように、子育てフェスタでもいろいろな方が来て、区民会議をもっと知ってほしいと思っております。4期目になりますけれども、全市的なアンケートでは、区民会議の認知度が内容よりも大分低いものですので、こういう機会を含めて認知度を上げるような取り組みをぜひお願いしたいと思いますし、4月の子育てフェスタも、9月7日のフォーラム同様に期待しておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

以上でございます。

#### 4 閉 会

菅原委員長 ありがとうございます。それでは、第6回区民会議の全体会をこれで終了いたします。

なお、これからは各専門部会に分かれまして勉強会に移らせていただきますけれども、参与の皆様、それから、傍聴の皆様も引き続き傍聴もできますので、お時間がございましたら、引き続きお聞きいただければと思います。長い時間、ありがとうございます。

午後4時15分閉会